

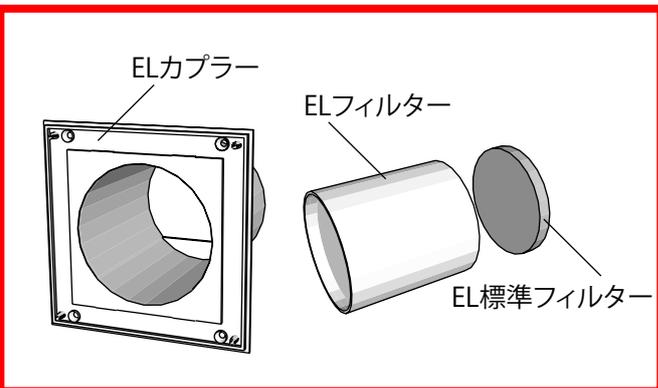
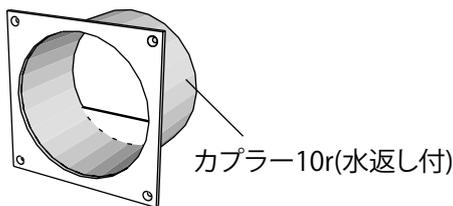
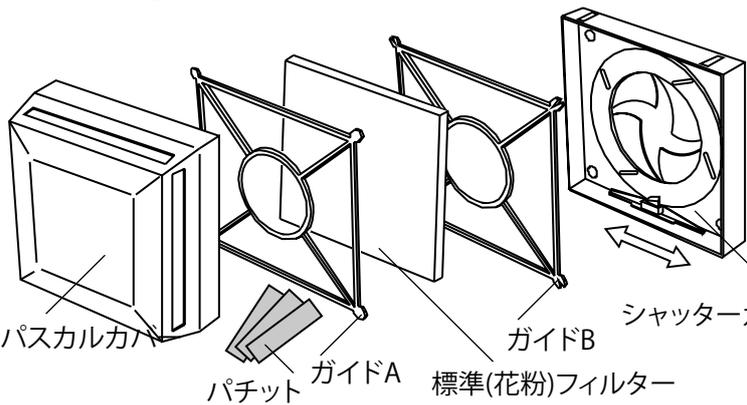
給気口パスカル7用3次元フィルター ELフィルター改修用セット

このたびは、給気口パスカル用3次元フィルター「ELフィルターセット」をお求めいただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、施工前に本紙を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

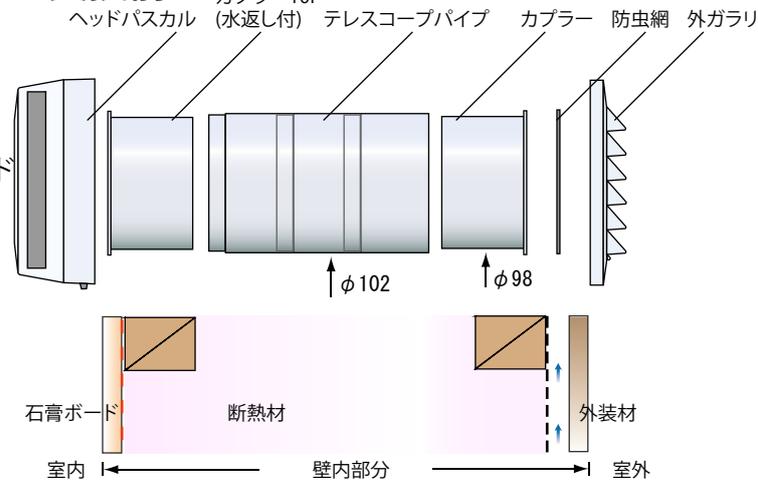
ジェイベックのELフィルター PM2.5対応スウェーデン製高性能特殊フィルター

ELフィルターは、パスカル7用特殊フィルターで、非常に小さな粒子まで分離できる高い性能を持っています。フィルター性能は、その厚みによって性能が変化しますが、ELフィルターは、3次元構造によるフィルターで、経年によるフィルターの抵抗も少なく、長期間、高い性能を保つ製品です。従来の厚みのあるフィルターや、折れフィルターのように目詰まりする危険性が少なく、耐久性においても、外気環境条件によって変化しますが、2年以内を目安に使用できます。その間、風量の低下は、通常のフィルターに比べ低く、吸着力は維持されます。材質は、可燃性です。

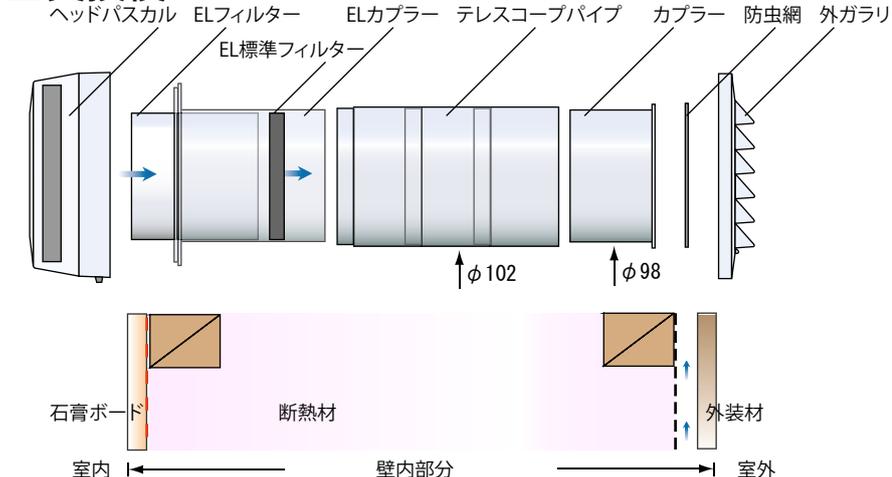
□ 部品説明



□ 交換前



□ 交換後



□施工説明

ジェイベック製の給気口(パスカル7) + ELフィルターは、お客様自身で取付け交換、メンテナンスができるように設計されていますが、自信のない方は取付け工事(有料)も承っております。施工工務店様、またはジェイベックお客様相談窓口にご相談ください。

□はじめに

準備しておく良い道具

掃除機、手袋、雑巾、脚立や椅子、プラスとマイナスドライバー、メジャー、キリ、水平器、金槌、皿頭木ネジ×4本/個、石膏ボード用アンカー×4本/個(石膏ボードにビスをネジ止めする場合、固定できない場合が多いため、あらかじめ市販のアンカーを用意します。)

施工する際は、高所であっても安定した足場の上で作業してください。

怪我防止のため、必ず手袋等を着用した上で作業してください。

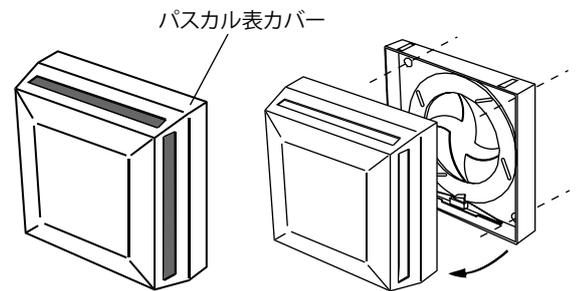
ELフィルターの交換時期は、外気的环境条件によって変化しますが約2年間が目安です。

ELフィルターは、保護袋から取り出すと性能が落ちますので、取付け直前まで保護袋を開けないでください。

取付け位置の確認と製品の確認。(パスカル7図参照)の個数および、ELフィルターの個数を確認します。

パスカルの表カバーを手前に引いて表カバーを外します。外したカバーからパチッと、フィルターおよびフィルターガイドを取り外し表カバーの清掃を行います。

※カバー清掃方法参照

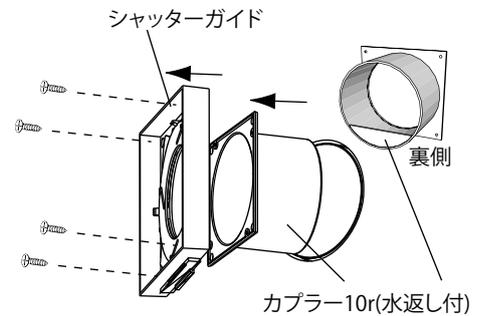


四隅に4本のビスでシャッターガイド(シャッターガイド図参照)が固定されています。

固定している4本のビスを外し、シャッターガイドを引き抜いて取り外します。その際、カプラー10r(水返し付・カプラー図参照)も同時にテレスコープパイプから引き抜きます。

シャッターガイドからカプラー10rを外し、清掃作業を行います。

※シャッターガイド清掃方法参照。



△注意

引き抜いたカプラーが水返し付ではない場合、テレスコープパイプの中のをぞき、水返しカプラーが奥に取り付いてないか確認してください。

取り付けしている場合、壁の表面までの距離が100mm以上あるかを確認します。

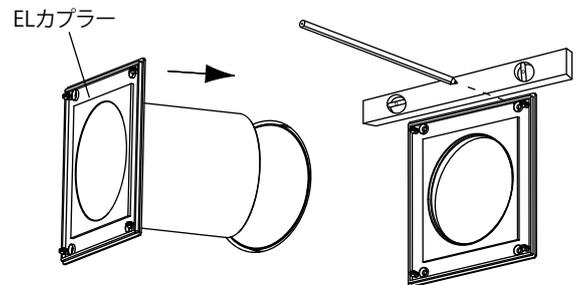
100mm以上距離がない場合は、取り付けることができません。

ELカプラーを仮でテレスコープパイプに差し込みます。ここで、上部に水平器を当て、正しく水平が取れているか確認します。

その後、四隅の穴に鉛筆で印をつけ、穴を開ける位置を確認します。

△注意

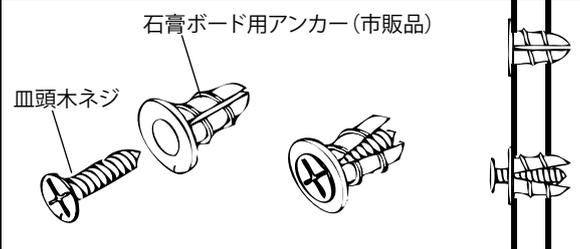
シャッターガイドの穴と、ELカプラーの穴の位置が異なるため、正しい位置に石膏ボード用アンカーを打つためです。壁が石膏ボードではない場合は、ボード用アンカーを打たず作業を進めてください。



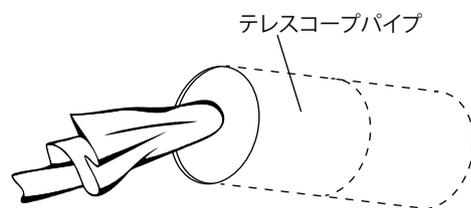
一旦、ELカプラーを取り外し、四隅の鉛筆印の部分をキリで穴開けし、石膏ボード用アンカーを打ち付けます。

△注意

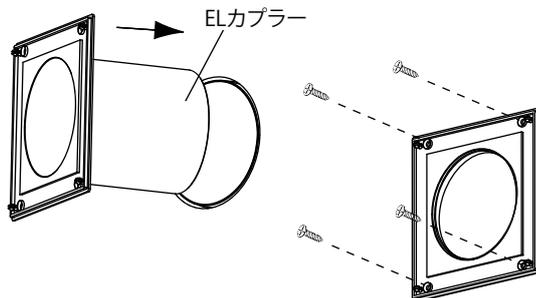
ボード用アンカーを強く叩きすぎると石膏ボードが割れる可能性がありますので、丁寧に作業してください。



テレスコープパイプの内部にゴミや異物がないよう、雑巾等できれいに清掃してください。



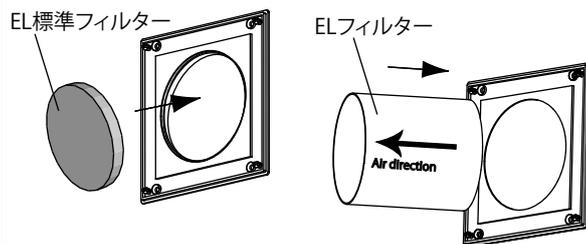
外したカプラー10rの代わりにELカプラーを同じ位置に差し込み、四隅をビスで固定します。石膏ボードのゆがみや開口寸法、勾配等この時点で修正し、ELカプラー端が水平になるよう注意して、固定します。固定ビスは皿頭ビスをご使用ください。



△注意

テレスコープパイプ水勾配は、1/50以上を外面向けて下げます。また、穴の位置は元穴の位置とは違います。

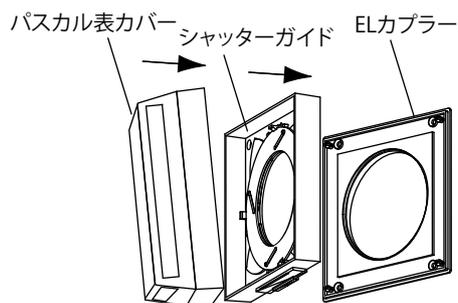
ELフィルターの差し込む前に、保護袋を開け、付属の黒色の標準フィルターを先に差し込みます。次に、矢印の方向を室内側に向けて、ELフィルター本体を奥まで差し込みます。



△注意

矢印の方向は室内側になります。(フィルターの毛先が手前になります。)

ELカプラーの四隅の突起にパスカルのシャッターガイドを押し込み固定します。



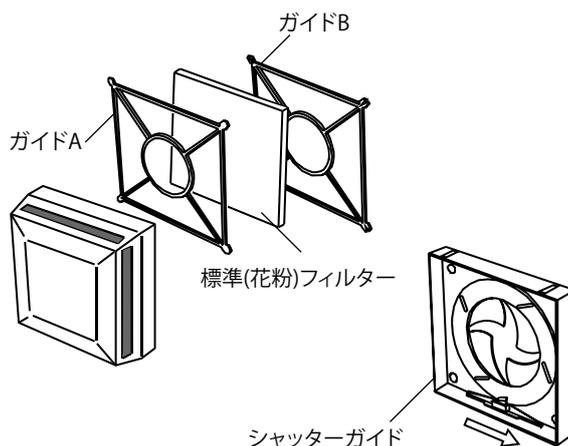
△注意

シャッターガイドはビス止めが必要ありませんので、ELフィルターの交換時はシャッターガイド脇を引っ張るだけで交換できます。

パスカル表カバーの裏にある標準(花粉)フィルターとフィルターガイド2枚は、使用しませんので外します。

最後に、パスカル表カバーを取り付けて終了ですが、風量を変更できるシャッターは全開状態にします。

下部のつまみで一番右にします。



ELフィルター

寸法：φ96×102mm

材質：ポリプロピレン製

ELカプラー

寸法：□147×L=115×φ98mm

材質：ABS樹脂

EL標準フィルター

寸法：φ96×10mm

材質：ウレタン



パスカル7表カバー清掃

① フィルターガイド1枚目を外します。



② フィルターを外します。



③ フィルターガイド2枚目を外します。



④ パチットはそのままにします。



⑤ 内側の汚れ、埃を拭き取ります。



⑥ 外側も同様に拭き取ります。



シャッターガイド清掃

① シャッターガイドを清掃します。



② 水洗いも可能です。



③ 羽が外れないよう注意します。



④ 洗った後は、よく拭き取って乾かします。



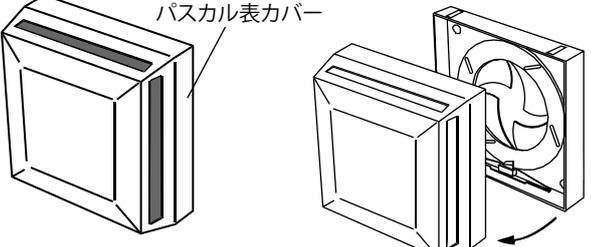
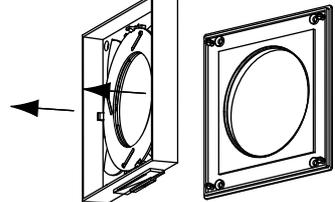
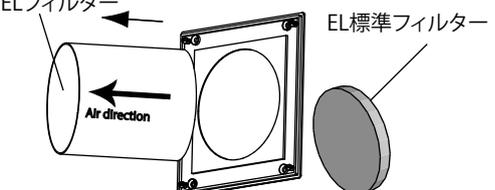
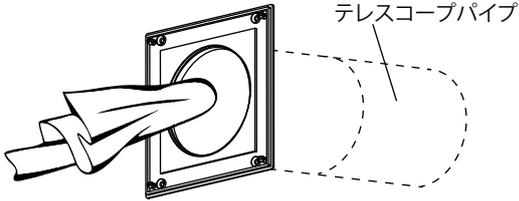
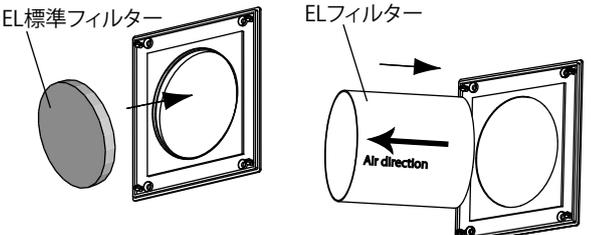
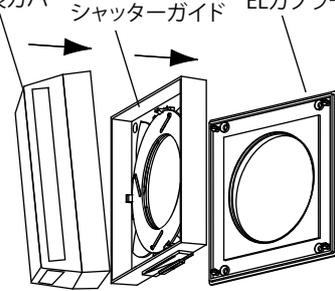
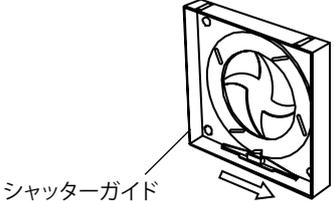
□フィルター交換方法

施工する際は、高所であっても安定した足場の上で作業してください。

怪我防止のため、必ず手袋等を着用した上で作業してください。

ELフィルターの交換時期は、外気的环境条件によって変化しますが約2年間が目安です。

ELフィルターは、保護袋から取り出すと性能が落ちますので、取付け直前まで保護袋を開けないでください。

<p>取り付け位置の確認と製品の確認。(パスカル7図参照)の個数および、ELフィルターの個数を確認します。</p> <p>パスカルの表カバーを手前に引いて表カバーを外します。取り外した表カバーの清掃を行います。</p> <p>※カバー清掃方法参照</p>	 <p>パスカル表カバー</p>
<p>四隅の突起にパスカルのシャッターガイドが差し込まれています。シャッターガイドの両側面をつまみ、手前に引き抜いて外します。</p> <p>△注意 ビスで固定されていませんので手で簡単に外せます。</p>	
<p>パイプ内に挿入されているELフィルターおよび、EL標準フィルターを取り出します。ほこりが飛び散る恐れがありますので、あらかじめ手袋、ゴミ袋等を準備すると良いでしょう。</p>	 <p>ELフィルター</p> <p>EL標準フィルター</p> <p>Air direction</p>
<p>テレスコープパイプの内部にゴミや異物がないよう、雑巾等できれいに掃除してください。</p>	 <p>テレスコープパイプ</p>
<p>ELフィルターを差し込む前に、保護袋を開け、付属の黒色の標準フィルターを先に差し込みます。次に、矢印の方向を室内側に向けて、ELフィルター本体を奥まで差し込みます。</p> <p>△注意 矢印の方向は室内側になります。(フィルターの毛先が手前になります。)</p>	 <p>EL標準フィルター</p> <p>ELフィルター</p> <p>Air direction</p>
<p>ELカプラーの四隅の突起にパスカルのシャッターガイドを押し込み固定します。</p> <p>△注意 シャッターガイドはビス止めが必要ありませんので、ELフィルターの交換時はシャッターガイド脇を引っ張るだけで交換できます。</p>	 <p>パスカル表カバー</p> <p>シャッターガイド</p> <p>ELカプラー</p>
<p>最後に、パスカル表カバーを取り付けて終了ですが、風量を変更できるシャッターは全開状態にします。下部のつまみで一番右にします。</p>	 <p>シャッターガイド</p>